

2025 年度 出資事業 資金分配団体の公募 採択団体・事業情報

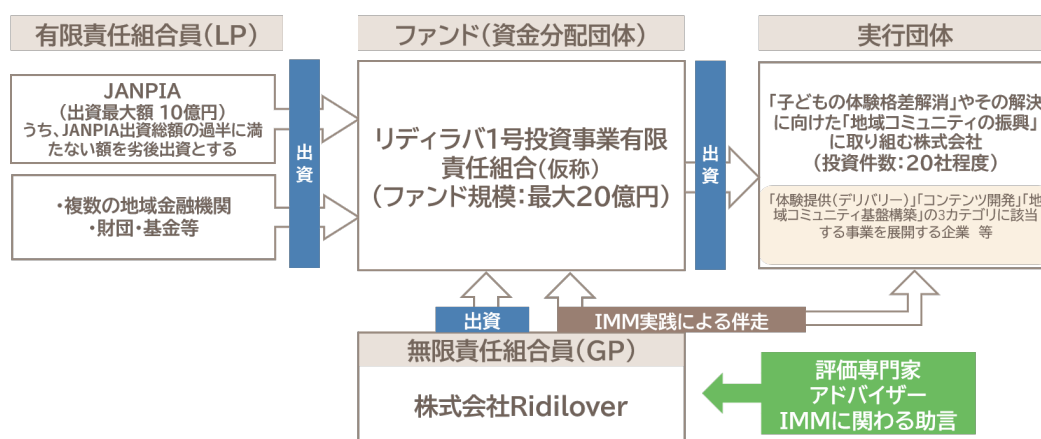
(全 1 事業) 2026 年 8 月現在

■選定団体

資金分配団体名	リディラバ 1 号投資事業有限責任組合(仮称)
申請団体名	株式会社 Ridilover
所在地	東京都文京区
設立	2013 年 3 月
代表者	安部 敏樹
対象とする社会課題	「体験」は多様な活動や人との関わりの中で挑戦や自立、社会との接続を促し、子どもの成長・発達を支えるうえで重要な役割を果たす。非認知能力の重要性が社会全体で認識される中で、民間市場による「高価な体験」が拡大している。他方で、学校や地域社会といった子どもを取り巻く環境の変化により「安価な体験」は減少しており、家庭の経済力、情報収集力、時間的余裕の有無によって、体験への参加に格差が生じている。特に地域社会では、コミュニティの希薄化と体験機会の縮小が悪循環の構造に陥っており、さらに地方では地理的制約、地域資源の偏在、地域間格差等の理由が加わり、体験機会そのものが限定されている。本事業ではこれらの課題解決に取り組む。
解決のための戦略	投資と事業伴走を通じて、以下の 3 つの柱により、家庭環境や住む地域に関わらず、全ての子どもの体験機会が確保された社会に向けたシステムチェンジの実現を目指す。 ① IT やデジタルの活用等による本人の特性等により参加が制限される子どもの体験へのアクセス向上 ② 安価で良質な体験提供の基盤再生・強化を目指した地域コミュニティの振興 ③ 非営利領域と連携したより困難な子どもへのアウトリーチや政策と連携した市場創造
出資手法 (劣後出資 ^{*1})	JANPIA からの本事業への出資最大額は 10 億円を予定し、このうち JANPIA 出資総額の過半に満たない範囲で劣後出資を活用する。

*1 劣後出資とは、民間資金の呼び水効果を高めるために JANPIA が試験的に導入している仕組みです。JANPIA は出資元本を超える利益の分配を受けず、その分を他の共同出資者へ優先的に分配します。なお、出資元本が回収できなかった場合でも、JANPIA が損失を補填するものではありません。※劣後出資の詳細については、公募要領「第 2 章 出資の概要 01 JANPIA の出資方針 (7) 劣後出資の導入」をご参照ください。

【スキーム図】



ファンド存続期間	10 年 (延長 5 年)
出資期間	7 年
実行団体への出資予定額	平均出資額は 0.5 億円前後
投資ステージ	プレシード～